

問1 1858年に日本が結んだ日米修好通商条約において、日本が認めてしまった、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない権利を何という？

1. 領事裁判権 2. 関税自主権の欠如 3. 居留地権 4. 片務的最恵国待遇

問2 1853年に浦賀へ来航し、江戸幕府に対して開国を強く求めたアメリカ東インド艦隊の司令長官は誰？

1. ハリス 2. ラクスマン 3. ペリー 4. プチャーチン

問3 開国直後、当時の日本の貨幣制度の仕組みを悪用され、海外へ大量に流出したものは何という？

1. 紙幣 2. 銀貨 3. 銅銭 4. 金貨

問4 幕府が1825年に出した、近づいてくる外国船を武力で追い払うように命じた法令を何という？

1. 禁教令 2. 異国船打払令 3. 日米和親条約 4. 修好通商条約

問5 アメリカがペリーを派遣するきっかけとなった、1840年に清がイギリスと戦った戦争を何という？

1. 日露戦争 2. アヘン戦争 3. 日清戦争 4. アロー戦争

問6 黒船の来航を目にした当時の日本人が抱いた、計り知れない驚きや精神的揺らぎを何という？

1. 衝撃 2. 動揺 3. 混乱 4. 困惑

問7 1866年、対立していた薩摩藩と長州藩を仲介し、両者の和解を実現させた土佐藩出身の人物は誰？

1. 坂本龍馬 2. 大久保利通 3. 木戸孝允 4. 西郷隆盛

問8 幕末の開国後、アメリカをはじめとする外国と結ばれ、生糸などの輸出が始まったことで国内の物価上昇を招いた条約を何という？

1. 日英修好通商条約 2. 日米修好通商条約 3. 日仏修好通商条約 4. 日米和親条約

問9 安政の大獄で処罰された、長州藩出身の思想家・教育者で、松下村塾で多くの志士を育てた人物は誰？

1. 橋本左内 2. 吉田松陰 3. 安藤信正 4. 頼三樹三郎

問10 日米和親条約で、下田や箱館を開港した主な目的は何を補給するため？

1. 燃料・食料 2. 薪水・食料 3. 石炭・水 4. 石炭・食料

問11 清がイギリスに敗れたことを受け、江戸幕府が従来の異国船打払令を改めて、外国船に対して薪や水を与えるようになったきっかけとなった戦いを何という？

1. 日露戦争 2. アロー戦争 3. 日清戦争 4. アヘン戦争

問12 長州藩が外国艦隊の報復攻撃を受けたり、薩摩藩がイギリスとの衝突を経験したりする中で、尊王攘夷から方針を転換するきっかけとなった、長州藩を攻撃した連合艦隊を何という？

1. 四国連合艦隊 2. ペリー艦隊 3. 東洋艦隊 4. 地中海艦隊

問13 産業革命によって発明され、黒船の動力として用いられた技術を何という？

1. 水力機関 2. 蒸気機関 3. 風力機関 4. 電力機関

問14 ペリー来航により崩壊した、江戸幕府が長く続けていた外交方針のことを何という？

1. 大政奉還 2. 廃藩置県 3. 版籍奉還 4. 鎖国

答え合わせ・解説

問1	答え 1 領事裁判権	日米修好通商条約は、日本にとって「領事裁判権」を認めず、「関税自主権」もないという、主権を侵害された極めて不平等な内容でした。領事裁判権とは、日本にいる外国人が罪を犯しても、日本が日本の法律で裁くことができず、その外国人の国の領事が自国の法律で裁く権利のことです。
問2	答え 3 ペリー	アメリカの東インド艦隊司令長官ペリーは、4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に現れました。圧倒的な軍事力を背景に、開国と通商を求める大統領の親書を幕府に提出しました。幕府は強硬な態度をとるペリーに対し、防備を固めることもできず、翌年の再来航を約束して一旦回答を猶予せざるを得ませんでした。
問3	答え 4 金貨	当時の日本は金銀比価が金安だったため、外国人商人が銀を持ち込んで日本の金貨と交換し、それを海外で金と交換して大きな利益を得る「金銀交換比率の差を利用した投機」が横行しました。これにより、国内の金貨が急速に海外へ流出しました。
問4	答え 2 異国船打払令	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。これにより、武力による攘夷の姿勢が明確になりました。
問5	答え 2 アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに反発し、イギリスが武力で開国を迫ったことで勃発しました。近代的な軍事力を持つイギリスの前に清は完敗し、南京条約を結んで香港の割譲や開港を余儀なくされました。
問6	答え 1 衝撃	「黒船」は単なる船ではなく、当時の日本の軍事力の限界を突きつける近代兵器の塊でした。幕府の役人や市井の人々は、かつてない強大な力に圧倒され、国家の存続を脅かす事態に強い精神的な揺らぎを覚えました。当時の狂歌に詠まれるほど、この出来事は人々の記憶に強く刻まれました。
問7	答え 1 坂本龍馬	土佐藩を脱藩した坂本龍馬は、倒幕のためにはこの二藩の協力が必要であると考えました。そこで、両藩の指導者たちを引き合わせ、1866年に薩長同盟を成立させました。また、海援隊の前身となる亀山社中を作り、貿易や輸送にも力を注ぎました。
問8	答え 2 日米修好通商条約	1858年、大老の井伊直弼は朝廷の勅許を得ないまま、アメリカ総領事ハリスと日米修好通商条約を結びました。これにより函館・横浜・長崎などの開港と、治外法権の承認、関税自主権の喪失が決定しました。以後、同様の条約が英・仏・露・蘭とも結ばれ、安政の五カ国条約と呼ばれます。
問9	答え 2 吉田松陰	吉田松陰は長州藩の教育者として、松下村塾で高杉晋作や久坂玄瑞ら、後の明治維新の中心人物となる若者たちを指導しました。幕府の条約調印を厳しく批判したため、井伊直弼が行った安政の大獄によって処刑されました。
問10	答え 2 薪水・食料	アメリカ船が太平洋を渡る際、日本に立ち寄って船を動かすための燃料である「薪（たきぎ）」と、生きるための「水」および「食料」を確保することを最優先の目的に掲げました。
問11	答え 4 アヘン戦争	アヘン戦争では、蒸気船を擁するイギリス軍に対し、清の軍隊は全く歯が立ちませんでした。この敗北の結果、清は開国を余儀なくされました。その様子をオランダ風説書を通じて知った江戸幕府は、当時の日本軍事力では欧米列強には勝てないと判断しました。
問12	答え 1 四国連合艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの4か国が連合艦隊を結成し、長州藩の下関の砲台を激しく攻撃しました。圧倒的な軍事力の差を目の当たりにした長州藩は、攘夷の実行が現実的ではないことを悟りました。
問13	答え 2 蒸気機関	蒸気機関は、水を沸騰させて発生する蒸気力で機械を動かす技術です。この技術を船舶に応用したものが蒸気船であり、風の力に頼らずに航行できるため、当時の軍事力や輸送力の象徴となりました。ペリーが使用した黒船も、この蒸気機関による強力な推進力を備えていました。
問14	答え 4 鎖国	長年にわたり、外国との交流は長崎でのオランダや中国との限られた貿易のみに制限されていました。しかし、1854年の日米和親条約により、この体制は事実上終了しました。